



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 6> 令和5年9月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)

866-5789 (相談室)

<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>



チャレンジしてみよう



2学期も始まり9月となりました。友だちとの久しぶりの再会に、とびきりの笑顔のみなさん会うことができ、私もとてもうれしい気持ちの始業式を迎えることができました。

始業式では、この夏休みの出来事でみなさんの成長を感じたことや、世の中の変化の様子について、そしてバスケットワールドカップ等を絡めて、「失敗を恐れず、自分の考えをもって行動してほしい」との話をしました。なぜこのようにチャレンジすることが大切なのでしょうか？

みなさんは「やらずに後悔するよりも、やって後悔した方がいい」という言葉を聞いたことはありますか？

自分のやりたいことはある。けれどもそれが100%成功するとは限らない時に、結果として失敗してもやる方がいいことなのか、失敗の可能性があればやりたいこととは違ってうまくできそうなことをするべきなのか。あなたならどちらを選びますか？

もしも失敗したときに、納得できるのか、納得できないのかで決まるのではないのでしょうか？

また男子バスケットの選手の話します。富樫勇樹選手(30歳)は身長167cmで、バスケット選手としては小さい選手です。しかし、彼はバスケットが大好きで中学卒業後、アメリカに渡り、現地の高校で腕を磨き自分よりも30cmも大きな選手に囲まれながら、素早い動きで相手をかく乱する方法、そして3ポイントシュートとフローターシュートという大きな選手を避けて得点を取る方法を磨き大活躍をしたそうです。卒業後は日本のバスケットボールチームで活躍の後NBAに挑戦し、レジェンズというチームで活躍したり、イタリアのセリエAから誘われるなど素晴らしい活躍を見せ、現在は日本のプロバスケットボールチームに所属し、日本代表のキャプテンとしてこのワールドカップでも大活躍をしています。

彼は男子バスケット選手としては小さいです。もし、それを気にしていたら幼いころに諦めて違うことをしていたのかもしれない。しかし、彼はあきらめませんでした。それは、バスケットが好きでうまくなりたかったからです。そして努力をしたのです。ただ、「好きだから」だけでなく、「どうすればうまくいけるのか」、「どうすれば背の高い選手に負けないか」、課題を解決するために彼は考え、努力をしました。背の高い選手と同じ練習を同じだけしても変化はありません。自分の良さを生かす練習を工夫したのでした。それが、動きの速さと2つのシュートの正確性です。幼いころからバスケットに親しむことができる環境や、優れた指導者としてのご両親の存在等、他の人よりは少し恵まれていたのかもしれない。それを極めたいという強い意志がなければ、それは育たなかったのでは？と考えます。やり遂げる「意志」と「努力」があれば多くのことは成功に近づき、うまくいかない時にも納得ができます。そして、再挑戦や反省を生かした違う道を見つけることができる事でしょう。よく成功したといわれる人が「何も考えずガムシャラに頑張っただけです」ということがあります。それは、何も考えなかったのではなく、その時その時に最善を考えていたのだと思います。本当に何も考えず、何も努力しないで、ただ「〇〇が好き」とだけ思って行動していたら成功するのでしょうか。「やらずに後悔するよりも、やって後悔した方がいい」とは、やってみようことには、失敗しても納得できるだけの精いっぱい努力をしてみようということではないのでしょうか？そのくらい必死に考えて何かをチャレンジしてみる。「自分の良さを伸ばすために全力でぶつかれる」そんな中学校生活を送ってほしいと願います。この2学期どのような締めくくりの言葉を聞くことができるか、期待しています。

保護者のみなさま、地域のみなさま、この2学期は行事も多く、それらを充実させるため普段よりも騒がしいことがあるのかもしれない。また、3年生を中心に自分を見つめ進路を考え、迷う時期でもあります。そんな子どもたちに温かく寄り添い、時に厳しく、時に優しく声をかけ見守っていただければ幸いです。また、地域の白幡中として子どもの活動についてお気づきの点があれば、良いことも、反省すべきこともぜひ、お知らせください。地域の白幡中として子どもたちの成長にお力添えをいただけますよう、よろしく願いいたします。

